

□ 「道の駅」の役割



【道の駅はなその】

「道の駅」は国土交通省（当時建設省）が登録を開始してから20年が経過し、平成25年4月時点では全国に1000箇所以上もの「道の駅」が整備されています。

最近では、従来の3つの基本的な機能（休憩機能、情報発信機能、地域連携機能）に加え、観光振興・地域活性化（雇用増加）・産業活性化や防災機能面での強化などの面が大きくなり、地域にとって「道の駅」の存在・役割は大きくなっています。

弊社では「道の駅」に関する多くの業務実績を活かし、魅力ある「道の駅」の整備、活性化のためのリニューアル、防災拠点化等をお手伝いいたします。

1 地域活性化・観光振興に資する「道の駅」

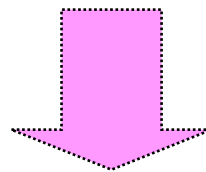
最近では、全国各地で特色ある「道の駅」が増えてきました。「道の駅」の導入機能に様々な工夫を凝らし、「道の駅」の魅力度の向上や集客の仕掛けづくりをすることで、地域の認知度やイメージアップ効果が得られ、地域の活性化や観光振興が図ることが可能になります。

《3つの基本的な機能》

- ◎休憩機能
- ◎情報発信機能
- ◎地域連携機能

■従来型の道の駅

- ・農産物直売所、軽食レストラン



《新たな機能の追加》

「道の駅」の魅力度の向上や
集客の仕掛けづくり

■近年の「道の駅」

- ・自然エネルギー活用機能
(太陽光発電システム、レンタサイクル等関連施設等)
- ・農産物加工・体験機能
(体験型農園、農産物加工体験施設、見学用園芸ガラスハウス等)
- ・郷土・伝統料理提供機能
(農家レストラン、フードコート、バーベキュー場等)
- ・人と人とのふれあい交流機能
(郷土展示施設、温浴施設、多目的広場等)



【市民農園】



【いちごの里よしみ：円形広場】

2 事業手法の紹介

国土交通省道路局が所管、登録認定している「道の駅」の整備手法は、地元自治体がすべてを実施する単独型整備と、道路管理者と地元自治体が共同して実施する一体型整備とに区分されます。

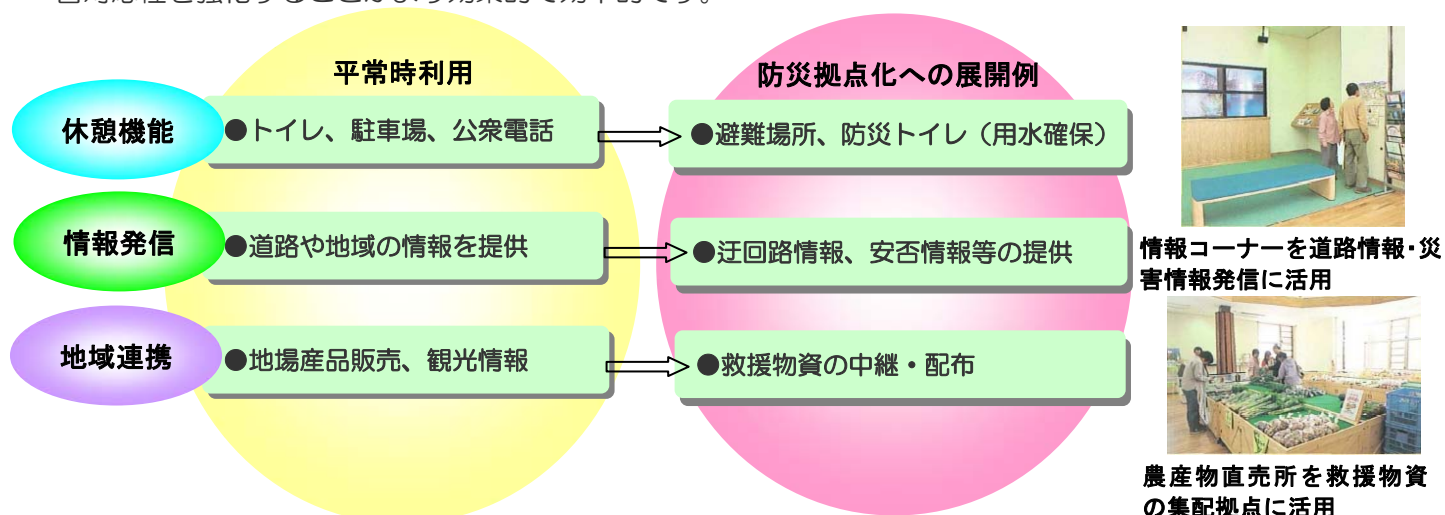
- 1) 一体型「道の駅」整備に関する補助事業の代表的なもの
 - ・「社会資本整備総合交付金（簡易パーキングエリアの整備）」
- 2) 「道の駅」内の地域振興施設等整備に関する国庫補助事業の一例
 - ・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 等

3 「道の駅」防災拠点化

平成16年10月の新潟県中越地震の際に、「道の駅」は道路利用者や周辺住民の避難場所となり、防災の拠点として注目をあびました。平成23年3月の東日本大震災においても「道の駅」は、広い敷地や駐車スペースを生かし、自衛隊の活動拠点や住民の一時避難場所、救援物資の運搬拠点等として機能しました。しかし、地震発生直後は電気や水が使用できなかったという問題点も指摘されています。

大地震や大津波の発生時でも機能を維持できるように、事前に防災拠点化を進めておく必要があります。弊社では多くの実績を活かし、「道の駅」の防災拠点化をお手伝いいたします。

平常時における「道の駅」の3つの基本的機能を災害時にも活用するとともに、それをベースとして災害対応性を強化することがより効果的で効率的です。



4 業務実績

豊富な経験を活かし、計画立案から設計まで全て対応します。

弊社では「道の駅」に関する多くの実績を活かし、「道の駅」の新規整備、リニューアル、防災拠点化の支援をお手伝いいたします。

【完成済み】

- ・ 埼玉県 吉見町 「いちごの里よしみ」
- ・ 埼玉県 横瀬町 「果樹公園あしがくぼ」
- ・ 埼玉県 花園町（現、深谷市）「道の駅はなその」

【計画、基本設計段階】

- ・ 道の駅等交流拠点整備基本構想策定/基本設計等業務委託（千葉県 木更津市）
- ・ 足利市「道の駅」基本計画策定業務委託（栃木県 足利市）
- ・ （仮称）道の駅おおた基本構想策定業務委託（群馬県 太田市）

【防災拠点化】

- ・ 道路施設整備検討業務（関東地方整備局 甲府河川国道事務所）
- ・ 道の駅防災化検討業務（東北地方整備局 湯沢河川国道事務所）



セントラルコンサルタント株式会社

<http://www.central-con.co.jp>